

FIT終了後の設定変更について

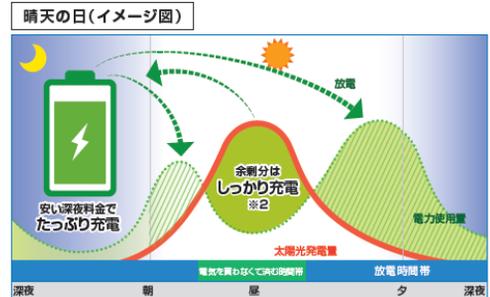
1. FIT終了したらグリーンモードがお得です

FIT終了により、売電価格が安くなり、売電メリットが少なくなります。
太陽光の自家消費を優先するグリーンモードに切替しましょう。

■ グリーンモード

太陽光発電と連携し、環境性を優先した運転を自動で行います。

太陽光により発電した電力は家庭内で使用し、余剰分は蓄電システムに充電して夕方から夜に使用します。また深夜電力を充電し、朝に使用することも可能です。^{*1}【押上げなし】



*1 放電できる時間は、充電した容量や電力使用量によって異なります。
*2 満充電後の余剰分は売電します。

2. グリーンモードへの変更方法

グリーンモードへの切替えはリモコン上で簡単に行えます。

<ESS-T1/T2シリーズ、ESS-H2シリーズ、ESS-U4シリーズの場合>

※モデルや構成によって、画面が異なる場合がございます



<ESS-U2シリーズ、ESS-U3シリーズ、ESS-H1シリーズの場合>



続いて、充電時刻と放電時刻の設定も変更しましょう。⇒裏面

3. グリーンモードでの充電時刻と放電時刻の設定

お客様の電力プランと生活スタイルに合わせて、お得な時刻に設定しましょう。

- ①充電開始/停止時刻は、電力会社から充電する時間帯です。
お客様の電力プランに合わせて、一番お得な夜間電力料金が始まる時間帯に設定してください。

<例：東京電力の電化上手（旧プラン）の場合>（契約プランをご確認ください。）
夜間電力料金は23:00～7:00なので、下記のように設定します。

- ・充電開始時刻 ⇒ 23:05（誤差を見て5分後に設定）
- ・ 停止時刻 ⇒ 5:59（下記の起床時刻の1分前に合わせる）

- ②放電開始/停止時刻は、蓄電した電力を使用する時間帯です。
この時、太陽光の余剰電力がある場合は蓄電池へ充電しますので、
できるだけ多くの電力を充電し、夕方に利用しましょう。
お客様のライフスタイルに合わせて、朝の使用開始時刻を設定してください。

- <例：朝6時起床の場合>
- ・放電開始時刻 ⇒ 6:00
 - ・ 停止時刻 ⇒ 22:59



4. 上級編：太陽光発電を最大限に充電するために

翌日、晴れの予報が確実な場合は、夜間の充電停止時間を早めて、蓄電池をできるだけ空っぽにし
ておくと、太陽光発電から蓄電池への充電量を増加できます。

この時、雨や曇りで発電量が減ると、昼間の高い電力を購入することになるのでご注意ください。

- <例：翌日の天気予報が確実に晴れの場合>
- ・充電開始時刻 ⇒ 23:05
 - ・ 停止時刻 ⇒ 2:00など（電池容量が小さい場合は早め、大きい場合は遅めに設定）

※注意：これらの設定方法は、各ご家庭の①電力プラン、②ライフスタイル、③太陽光出力、④家庭
負荷、⑤翌日の天気によって大きく変動する場合があります、経済効果を保証するものではありません。